

1 全手術件数

● 項目の解説

国立大学病院は急性期医療の要として、外科治療の力が問われており、手術件数はその一つの指標です。外科医、麻酔科医、看護師、手術室等のリソースは有限で、限られたスタッフと場所で効率的な運用をし、いかに手術件数を確保できるかが重要です。手術スタッフ、設備、手術時間等の効率的な運用を総合的に判断する指標です。

● 当院の実績



単 位 | 件

期 間 | 年間

備考・コメント

手術部はじめ、各部門のスタッフにより、手術件数の増加に向けた努力がなされています。

27年度国立大学病院平均値
 (100床あたり) 935.94件
 (平成27年度当院 100床あたり 772.75件)

● 定 義

手術室で行われた医科診療報酬点数に基づき算出されています。

ただし複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合は、合わせて1件とします。